

# オオルリハムシ

*Chrysolina virgata* (Motschulsky)

## コウチュウ目ハムシ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

### 選定理由

不安定な水辺環境に生息し、本県の生息地は能登地域に限られ、産地は局地的である。

### 形態

体長は9～14mm。ハムシ科では大型で、楕円形のずんぐりした体形である。体色は赤褐色の金属光沢ないし、橙色の弱い金属光沢で、外縁は帯状に緑の金属光沢を有する。

### 国内分布

本州。

### 県内分布

七尾市（旧中島町）以北の能登地域。

### 生態

成虫は5月から10月まで見られ、ため池の岸辺や廃田などの湿地環境に生育するシロネ類の葉を食する。幼虫もシロネ類を食する。

### 生息地の条件

シロネ類の群落が生育する湿地環境。

### 生存の危機

生息環境が湿地や池の岸辺、廃田と不安定なため、開発等の環境改変で容易に消滅してしまう。現在の能登空港周辺にあった生息地は、空港建設に伴う周辺の埋め立てや工事、ほ場整備のためにすべて消滅した。（A、B）

### 特記事項

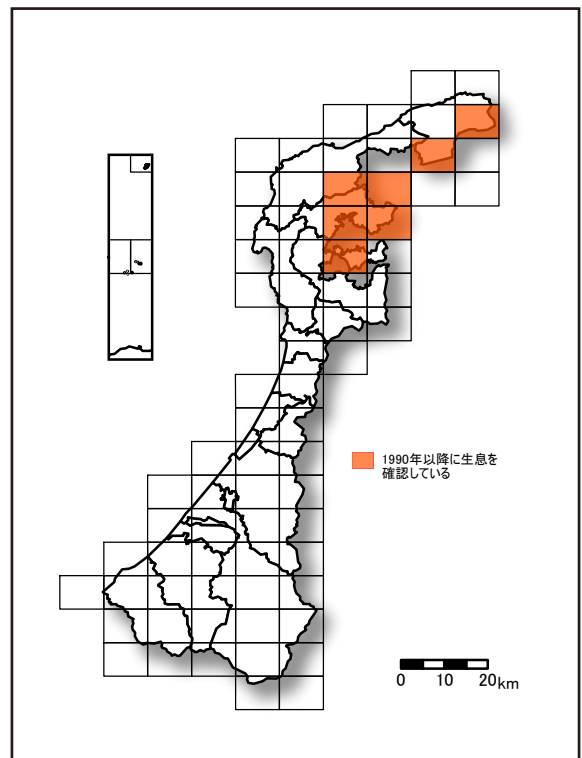
シロネ類は県内全域で見られるが、奥能登地域以外の生息地は見つかっていない。

### 参考文献

高羽正治 1998. コウチュウ目ハムシ科. 石川県の昆虫：217-232. 石川県自然保護課.



写真提供者：富沢章



県内の分布